

平成30年10月

## 市長定例記者会見次第

1. 日 時：平成30年10月12日（金） 14：00～ （約1時間）
2. 場 所：405会議室
3. 出席者：市長、関係局長ほか
4. 案 件
  - （1）平成30年7月豪雨災害における被災地への職員派遣について（資料番号1）
  - （2）ICTを活用した町会等活動の活性化支援コンペの結果について（資料番号2）
  - （3）「Civic Tech Summit KANAZAWA 2018」の開催について（資料番号3）
  - （4）金沢市職員の（一財）自治体国際化協会パリ事務所への派遣について（資料番号4）
  - （5）「ツエーゲン金沢コールリーダー大野哲がオススメする金沢」のサイトを開設（資料番号5）
  - （6）金沢マラソンもてなしメッセにおけるアート事業でのおもてなしについて（資料番号6）

## 市長定例記者会見資料

平成30年7月豪雨災害における被災地への  
職員派遣について

全国市長会および岡山市からの要請を受け、平成30年7月豪雨災害からの一日も早い被災地の復旧に向け、岡山県岡山市へ本市職員1名を派遣しています。

現地では、公園施設復旧業務に従事するもので、半年間の派遣となります。

なお、同災害においては、中核市市長会及び厚生労働省からの要請を受け、7月から8月にかけて岡山県倉敷市と愛媛県西予市へ本市職員の派遣を実施しており、今回は追加での派遣となります。

## 派遣先、業務、派遣職員及び派遣期間等

派遣先	要請内容	所属	氏名	派遣期間
岡山県岡山市	公園施設 復旧業務	土木局 営繕課	ながき りょう 長木 良 (主査(土木))	H30/10/1 ～ H31/3/31

## 【参考】

## (1) 派遣終了分

派遣先	要請内容	所属局	派遣人数	派遣期間
岡山県倉敷市	避難所運営	市民局	6人	H30/7/24～H30/8/31 期間中約1週間毎に 2名ずつ派遣
		福祉局	6人	
愛媛県西予市	高齢者等への 訪問での健康管理	保健局	2人	H30/7/30～H30/8/9 期間中1週間毎に 1名ずつ派遣
		計	14人	

## (2) その他支援内容

義援募金箱を7/12から9/28にかけて市役所本庁舎、市民センター等22箇所設置  
義援金総額 845,050円

(※義援金は日本赤十字社を通じ、被災地へ送られます。)

## 市長定例記者会見資料

## ICT を活用した町会等活動の活性化支援コンペの結果について

## 1 事業内容

ホームページやアプリ等の ICT を活用した町会等活動の活性化を支援する企画を公募し、市と採択団体とが協働により取り組みます。

## 2 応募及び審査

5 団体から応募があり、企画提案書及びプレゼンテーションを踏まえ、審査委員（学識経験者、町会連合会等地域団体及び市から選任）が審査した結果、1 団体を採択しました。

## 3 採択団体及び企画内容

団体名	代表者	企画タイトル
		事業概要
金沢市田上の里町会 いいねっと金沢 普及開発プロジェクトチーム	中盛 邦昭	安心・安全で楽しく多様な住民が参画可能な自治会運営アプリの社会実装
		田上の里町会、大学等、事業者が「アプリ開発・普及アドバイザープロジェクトチーム」を組織し、金沢大学等の教職員等をアドバイザーとして任命するとともに、開発への助言、住民への普及活動及び学生アドバイザーの養成等を行う。また、他町会の意見を聴取するヒアリング説明会を実施する。

## 4 今後の予定

10 月～11 月	アプリ開発、普及アドバイザーの登録
12 月	アプリの運用開始（田上の里町会内で試行）
1 月～3 月	普及アドバイザーによる研修会、アプリ運用の検証及び機能評価
4 月以降	随時、市内他町会へ導入

## 「Civic Tech Summit KANAZAWA 2018」の開催について

ICTを活用したまちづくりや地域課題解決に取り組む「シビックテック(\*)」活動を広く市民に周知し、市民協働を推進するため、有識者による講演やワークショップ等を行う「Civic Tech Summit KANAZAWA 2018」を開催します。

### \*シビックテック (CivicTech) とは

Civic (市民) とTech (テクノロジー) をかけあわせた造語のことで、市民自らが、テクノロジーを活用して、地域課題を解決しようとする取り組みや考え方を指します。

## 1 開催日時、場所

日 時：平成 30 年 12 月 9 日 (日) 10:00～17:00

場 所：IT ビジネスプラザ武蔵 交流室 1・2

## 2 内容 (予定)

### (1) 基調講演 (午前の部) [交流室 1・2]

#### ○ 基調講演 I

「テクノロジーと地域の「ヒト・モノ・カネ」の未来」

庄司昌彦氏 (国際大学グローバル・コミュニケーション・センター准教授)

#### ○ 基調講演 II

「80 歳からでもプログラミング！一億総プログラマー計画！」

若宮正子氏 (NPO 法人ブロードバンドスクール協会理事)

小泉勝志郎氏 (株式会社テセラクト代表取締役)

### (2) テクノロジー × SDGs セミナー (午後の部)

2つの会場に分かれて、パソコンを使って簡易な開発体験ができるハンズオン形式のテクノロジーセミナーと、受講者参加型のSDGsセミナーを開催します。

#### ○ テクノロジーセミナー [交流室 1]

・セミナー I : Amazon「Alexa」を使ったセミナー (ハンズオン形式)

・セミナー II : レゴを使ったセミナー (ハンズオン形式)

#### ○ SDGs セミナー [交流室 2]

・セミナー I : 持続可能な田舎の公共交通を考える

(パネルディスカッション形式)

・セミナー II : サステイナブルな NPO になろう！-資金と人財の集め方-

(ワークショップ形式)

## 市長定例記者会見資料

## 金沢市職員の（一財）自治体国際化協会パリ事務所への派遣について

金沢市は、本年4月から、（一財）自治体国際化協会に職員を派遣しており、来年4月からは、同協会パリ事務所において、地域の国際化に向けた調査や自治体の国際交流事業の支援を行う。

本市では、フランスからの観光誘客を促進するためにフランス在住のこいずみ小泉のりこ範里子氏を誘客コーディネーターとして配置しているほか、フランスの水泳及びウェイトリフティングのナショナルチームの東京オリンピック・パラリンピック事前合宿の誘致にはフランス人の（名）マチルダ・（姓）デュボワ国際交流員が重要な役割を果たしており、このたびの職員派遣を機に、フランスをはじめ欧州における本市の活動を強化し、種々の分野における国際交流や姉妹都市交流のさらなる推進を図ることとしている。

海外事務所に長期派遣する市職員は、ニューヨーク（H13～14 自治体国際化協会）、ローマ（H29～30 日本政府観光局）に続いて3人目であり、パリには初めての派遣となる。

## 1. 派遣者

都市政策局国際交流課主査 池田 志穂

（（一財）自治体国際化協会 JET プログラム事業部 調整課）

## 2. （一財）自治体国際化協会パリ事務所

[派遣期間] 平成31年4月～平成33年3月（2年間）

[住所] 10 rue de la Paix 75002 Paris

## &lt;参考&gt;

パリ事務所での主な業務

- ・地域の国際化に関する情報の収集及び提供
- ・日本の地域に関する情報の海外関係者への提供
- ・地方公共団体の海外における国際化推進のための活動支援 など

## 市長定例記者会見資料

## 「ツエーゲン金沢コールリーダー 大野哲がオススメする金沢」のサイトを開設

ツエーゲン金沢のコールリーダー 大野哲さんがオススメするお店を紹介する特設サイトを、金沢市観光協会公式サイト「金沢旅物語」内に、本日開設しました。

このサイトを通じて、アウェイサポーターの皆様にも、金沢のまちなかへの回遊を勧めるとともに、サポーター同士や市民との交流も促進し、金沢ファンの増加につなげていきます。

## [サイト掲載例]



ツエーゲン金沢のコールリーダーを務める大野哲さんがオススメする金沢のスポットです。紹介するお店はサッカー好きにはたまらないお店ばかり。皆さんも是非足を運んでみてください。



02

## フルーツ坂野



創業約70年で、季節の美味しいフルーツが揃っている。ツエーゲンの選手も愛用しており、試合前に坂野のバナナを食べているとか。

住所 ▶ 近江町市場内

営業時間 ▶ 9:00~17:00

定休日 ▶ なし

電話番号 ▶ 076-261-4473

概要 ▶ フルーツ店



## [大野 哲 プロフィール]

ツエーゲン金沢のサポーター団体 Z-BLITZ (ジューブリッツ) に所属し、ツエーゲン金沢のコールリーダーとして活躍中。

Z-BLITZ は、チーム、選手の横断幕やコール、応援歌などを作ってスタジアムで応援を先導し、チームを鼓舞していることが評価され、今年4日に、金沢市スポーツ文化活動賞を受賞。

## [紹介スポット]

1. 釜炊きおにぎり みつや
2. フルーツ坂野
3. BAR canaria
4. 丸二商店
5. 串揚げ いやさか
6. さぶろうべい藤江店
7. 鉄板酒房 haru
8. 焼肉 NOBU
9. 炭焼 333

## [特徴]

大野さんオススメのお店に、ちょっとしたエピソードなど、大野さんの言葉を添えて、サッカーファンがより親しめるサイトになっています。アウェイサポーターが安心して訪れることができます。

## 金沢マラソンもてなしメッセにおけるアート事業でのおもてなしについて

10月28日(日)に開催される「金沢マラソン2018」に参加する1万2千人のランナーが、26日(金)、27日(土)の2日間、受付のために来場する「金沢マラソンもてなしメッセ」(金沢駅東もてなしドーム地下イベント広場)において、以下のアート事業と連携し、文化都市金沢らしいおもてなしを行う。

### 1. みんなの思い出黑板报アート事業(金沢マラソン時期)

#### ① 目的

9月からスタートした「みんなの思い出黑板报アート事業」は、金沢美術工芸大学との連携のもと、油画専攻、日本画専攻の学生が材木町小学校の不要になった黑板报をキャンバスと見立て、金沢の風景や海の幸を白墨で描き、アート作品としてこれまで来街者に公開してきた。

10月は「金沢マラソン」が開催され、1万人を超える来街者が見込まれることから、金沢のPRの更なる推進を目指し、金沢マラソンの開催時期に合わせて当該事業を実施することとした。

#### ② 実施場所

【制作】金沢駅東もてなしドーム地下広場 思い出ピアノ設置場所付近

【展示】制作場所から石川県立音楽堂までの地下通路

#### ③ 制作者：金沢美術工芸大学 彫刻専攻学生(担当教員：石田陽介教授)

#### ④ 制作テーマ：「歴史の街・金沢をアートで駆け巡る」

「金沢マラソン2018」は、歴史の街金沢をランナーが駆け巡る日となる。  
 また、一方で全国から訪れたランナーをもてなす場でもある。  
 こうしたコンセプトを念頭に、金沢の歴史を舞台に活躍した人物が時代とともに市内を駆け巡った状況を描くことで、来街者にアートによるおもてなしを感じてもらい、金沢の魅力の更なるPRに努める。

#### ⑤ 実施期間(予定)

【制作期間】平成30年10月13日(土)～21日(日)

【展示期間】平成30年10月22日(月)～28日(日)

### 2. 金沢マラソンもてなし花装飾事業

#### ① 目的

金沢マラソンに出場する1万2千人のランナーや市民等に花の良さをPRし、花きの普及促進を図る。

#### ② 内容

10月26日(金)と27日(土)に金沢マラソンもてなしメッセ入口部分の一角を花で美しく装飾する。(金沢マラソンにおいて、初めての取り組み)

#### 1) デザイン・制作 小西 拓 氏(金沢公設花き小売商組合の組合員として制作)

※今年4月に開催された一般社団法人JFTD主催グランドチャンピオン選手権優勝者で、本市在住のトップフローリストで、数多くの受賞歴がある。

#### 2) コンセプト

全国のランナー達が集う玄関口として、金沢らしくお迎えするために、より明るい色の多種類の花材を選び、デザインした。花材の半分以上を地物の花材を使用することにより、より金沢らしく、いいね金沢と思ってもらえるものとした。

#### 3) 場所 金沢駅東もてなしドーム地下イベント広場

※もてなしメッセ入口部分の一角を花で装飾

#### 4) 期間 平成30年10月26日(金)～27日(土)

#### 5) デザインイメージ

